

# 号外

# 琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

2014年(平成26年)

8月14日(木)

発行所 琉球新報社  
郵便番号 〒900-8525  
那覇市天久905番地  
©琉球新報社2014年

# 設置ブイ 古野辺

# 防衛局、埋め立て着手

# 抗議行動排除へ



沖繩防衛局は14日午前7時35分、米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設に向けた海底ボーリング調査に先立ち、立ち入り制限の境界を明確化するためのブイ(浮標灯)の設置作業を開始した。埋め立て工事に向けた本格的な海上作業に着手した。調査を円滑に進めるため、移設に反対する市民らの抗議行動を排除する狙いがあるとみられる。調査区域を明確化するための海上作業は初めで、ボーリング調査は18日にも開始する方針だ。防衛局は移設予定地に隣接するキャンプ・シュワブから作業船を出港させるため、シュワブ沿岸部に7月下旬に浮棧橋を設置。台風の接近で一時撤去したが、今月11日に再設置し、海上作業の準備を進めていた。

ろまで続く見通しだが、天候や作業の進捗状況などで変わる可能性もある。作業が順調に進めば16日にも海底ボーリング調査に必要な単管足場(やぐら)を沿岸部に設置する作業に着手する。防衛局はブイなどの設置について「設置工事に関する具体的な事柄については事業の安全かつ円滑な工事を実施する観点から回答を控える」としている。

ブイなどを設置した後、ボーリング調査に着手。調査期間は11月30日までと設定しており、辺野古沖の21地点を掘削する海底地質調査に11日間、船を使った磁気探査に40日間、潜水での磁気探査に140日間を予定。海上の9地点に単管足場、水深の深い12地点にはスパット台船を配置する。

ボーリング調査に向けブイ設置を開始する作業員14日前、名護市辺野古(NTVニュースから)

海上での作業は16日こ

する。

# 辺野古着工 これまでの動き

新基地建設反対を訴え、米軍キャンプシュワブ旧ゲート前道路で座り込みする市民らを強制排除する警察官＝7月28日午前8時49分、名護市辺野古



資材が入った積荷を降ろしたとみられるトレーラーが基地を出ようとしたところでもみあう市民と警察官＝7月24日午後11時ごろ、名護市辺野古の米軍キャンプ・シュワブゲート前



海上保安庁のボートが停泊できる浮橋＝7月28日午後2時50分、名護市辺野古のキャンプ・シュワブ



棧橋近くに浮標灯(ブイ)や浮具(フロート)を搬入する作業員ら＝8月13日午後2時ごろ、名護市辺野古のキャンプ・シュワブ



ゲート前でプラカードを手に海上基地建設を反対する児童ら＝8月13日午前9時53分、名護市辺野古のキャンプ・シュワブ第1ゲート前

海底ボーリング調査に向け運び込まれた浮具(フロート)＝7月20日午後2時45分、名護市辺野古のキャンプ・シュワブ



辺野古移設に反対する市民が乗る船に飛び移ろうとする海上保安庁職員＝7月27日午前8時41分、名護市辺野古



8・14	7・1	14・1	12・27	13・3	12・22	12・26	12・28	11・6	11・21	11・28	5・28	2・24	10・1	10・24	09・9	11・19	5・1	06・4	12・16	05・10	2004・8	99・11	12・27	12・28	98・2	12・24	97・12	96・4	12・2	1995年9月4日		
ボート調査に向けた海上でのブイ(浮標)やフロート(浮具)の設置作業開始	沖繩防衛局がキャンプ・シュワブ内の飛行場建設予定地で既存施設の解体工事に着手	名護市長選で稲嶺氏が再選	仲井真知事が埋め立てを承認	沖繩防衛局が県に辺野古沿岸部の埋め立てを申請	第2次安倍政権発足	沖繩防衛局が環境影響評価の評価書を県に提出	沖繩防衛局が環境影響評価の評価書を県に提出	2プラス2で、辺野古にV字形の滑走路建設で合意	沖繩防衛局が環境影響評価の評価書を県に提出	県知事選で県外移設を公約した仲井真氏が再選	県知事選で県外移設を公約した仲井真氏が再選	政府が移設先を辺野古に回帰、「キャンプ・シュワブ辺野古古崎地区と隣接する水域」とする日米共同声明を発表	県議会が国外・県外移設を求める意見書を全会一致で可決	名護市長選で稲嶺進氏が初当選	国外移設の検討作業へ	鳩山政権発足。普天間飛行場の県外・県知事選で仲井真弘多氏が初当選	2プラス2で、在日米軍再編最終報告に合意	島袋吉和名護市長、沿岸部に2本の滑走路を建設する案で防衛省と合意	島袋吉和名護市長、沿岸部に2本の滑走路を建設する案で防衛省と合意	日米安全保障協議委員会(2プラス2)で、キャンプ・シュワブ沿岸部への移設を含む米軍再編の中間報告を発表	日米安全保障協議委員会(2プラス2)で、キャンプ・シュワブ沿岸部への移設を含む米軍再編の中間報告を発表	米軍ヘリが沖繩国際大学に墜落	稲嶺知事が移設先を名護市沿岸と発表	岸本建男名護市長が受け入れ表明	代替施設を辺野古沿岸部とした政府方針を閣議決定	大田昌秀知事、海上基地受け入れ拒否を表明	比嘉鉄也名護市長、海上基地受け入れと辞任を表明	普天間代替施設建設の是非を問う名護市民投票。反対票が52・85%	日米両政府が日米特別行動委員会(SACO)最終報告を承認	日米両政府が普天間飛行場返還に合意	乱暴事件に抗議する県民総決起大会。8万5千人が参加	米兵による少女乱暴事件

## 普天間飛行場移設問題の経緯

○詳細はあすの紙面をお読みください